



平成30年6月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月13日

上場会社名 (株)アルバック
 コード番号 6728 URL <https://www.ulvac.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 岩下 節生

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員IR室長 (氏名) 梅田 彰

TEL 0467-89-2033

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (国内機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年6月期第2四半期の連結業績(平成29年7月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年6月期第2四半期	125,277	11.8	18,699	29.8	19,662	34.3	16,317	44.3
29年6月期第2四半期	112,021	9.0	14,409	33.6	14,641	36.6	11,304	44.9

(注) 包括利益 30年6月期第2四半期 29,230百万円 (85.7%) 29年6月期第2四半期 15,741百万円 (220.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年6月期第2四半期	331.16	
29年6月期第2四半期	229.19	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年6月期第2四半期	283,634	130,895	43.9
29年6月期	245,306	104,917	40.2

(参考) 自己資本 30年6月期第2四半期 124,570百万円 29年6月期 98,688百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年6月期				50.00	50.00
30年6月期					
30年6月期(予想)				60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年6月期の連結業績予想(平成29年7月1日～平成30年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	250,000	7.8	35,500	20.5	36,000	21.1	30,500	24.6	619.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年6月期2Q	49,355,938 株	29年6月期	49,355,938 株
期末自己株式数	30年6月期2Q	83,624 株	29年6月期	83,577 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年6月期2Q	49,272,351 株	29年6月期2Q	49,321,747 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	11
3. 補足情報	12
(1) 販売実績	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	29年6月期第2四半期 連結累計期間	30年6月期第2四半期 連結累計期間	前年同期比(増減率)
受注高	111,776	146,329	30.9%
売上高	112,021	125,277	11.8%
営業利益	14,409	18,699	29.8%
経常利益	14,641	19,662	34.3%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	11,304	16,317	44.3%

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、設備投資が緩やかに増加し、企業収益が改善するなど、緩やかに回復してきました。米国では、個人消費や設備投資の増加などにより景気の回復が続いてきました。欧州では、消費が増加し、生産や輸出が持ち直すなど、景気は緩やかに回復してきました。中国では、各種政策効果もあり、景気に持ち直しの動きが続いてきました。

当社グループを取り巻くエレクトロニクス市場においては、データセンター向けサーバー需要の増加等によるメモリ需要の拡大を受け、半導体メモリーメーカーにおける設備投資が増加しました。またフラットパネルディスプレイ(FPD)業界においては、テレビ用パネルの大型化、高精細化が進み、大型液晶パネル製造向けの設備投資が中国を中心として拡大、スマートフォン向け有機ELパネルの設備投資とともに高水準で推移しました。

このような状況において、当第2四半期連結累計期間につきましては、受注高は1,463億29百万円(前年同期比345億53百万円(30.9%)増)、売上高は1,252億77百万円(同132億56百万円(11.8%)増)となりました。また、損益につきましては、営業利益は186億99百万円(同42億90百万円(29.8%)増)、経常利益は196億62百万円(同50億21百万円(34.3%)増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、163億17百万円(同50億13百万円(44.3%)増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

「真空機器事業」

(単位：百万円)

	29年6月期第2四半期 連結累計期間	30年6月期第2四半期 連結累計期間	前年同期比(増減率)
受注高	96,857	128,739	32.9%
売上高	95,821	108,577	13.3%
営業利益	13,202	17,000	28.8%

真空機器事業を品目別に見ますと次のとおりです。

(FPD及びPV製造装置)

FPD製造装置の受注高は、中国を中心としたテレビ向け大型液晶製造装置やスマートフォン向け中小型有機EL製造装置の大型案件が重なったこともあり、前年同期を大きく上回りました。また、売上高も堅調に推移し、前年同期を上回りました。

(半導体及び電子部品製造装置)

半導体関連は、メモリ向け投資の拡大に伴い、NANDフラッシュメモリや次世代不揮発性メモリ向けのスパッタリング装置や自然酸化膜除去装置が増加、電子部品関連は、モバイル機器向け高機能デバイス製造装置などが堅調に推移し、前年同期を大幅に上回る受注高、売上高となりました。

(コンポーネント)

有機EL製造装置に搭載するクライオポンプをはじめ、FPD、半導体、電子部品業界や自動車関連向け真空ポンプや計測機器が堅調に推移し、受注高、売上高ともに前年同期を上回りました。

(一般産業用装置)

自動車部品製造用真空熱処理炉や漏れ検査装置などを中心に受注高、売上高ともに前年同期を上回りました。

その結果、真空機器事業の受注高は1,287億39百万円、受注残高は1,224億70百万円、売上高は1,085億77百万円となり、170億円の営業利益となりました。

「真空応用事業」

(単位：百万円)

	29年6月期第2四半期 連結累計期間	30年6月期第2四半期 連結累計期間	前年同期比(増減率)
受注高	14,919	17,590	17.9%
売上高	16,200	16,700	3.1%
営業利益	1,215	1,706	40.4%

真空応用事業を品目別に見ますと次のとおりです。

(材料)

主に液晶ディスプレイ用スパッタリングターゲットを中心に前年同期並みの受注、売上を計上しました。

(その他)

マスクブランクス関連は、高精細、高機能ディスプレイパネルや車載及び産業用半導体需要の増加を受け概ね堅調に推移しました。一方、分析機器関連は、受注高、売上高とも、全般的に低調な結果となりました。

その結果、真空応用事業の受注高は175億90百万円、受注残高は61億10百万円、売上高は167億円となり、17億6百万円の営業利益となりました。

なお、上記金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

前連結会計年度末に比べ、383億27百万円増加となりました。主な内容は、投資有価証券が142億65百万円増加したこと、現金及び預金が132億81百万円増加したこと、たな卸資産が57億74百万円増加したこと、受取手形及び売掛金が32億81百万円増加したことなどです。

(負債)

前連結会計年度末に比べ、123億49百万円増加となりました。主な内容は、前受金が67億60百万円増加したこと、支払手形及び買掛金が46億88百万円増加したこと、繰延税金負債(固定)が43億6百万円増加したこと、長期借入金金が37億70百万円増加したこと、一方で、短期借入金金が72億53百万円減少したことなどです。

(純資産)

前連結会計年度末に比べ、259億78百万円増加となりました。主な内容は、利益剰余金が138億49百万円増加したこと、その他の包括利益累計額が120億33百万円増加したことなどです。

② キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益、減価償却費、仕入債務の増加、前受金の増加などのプラス要因に対し、売上債権の増加、たな卸資産の増加などのマイナス要因により、214億81百万円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形及び無形固定資産の取得による支出、投資有価証券の売却による収入などにより、26億53百万円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金の減少、配当金の支払などにより、69億74百万円の支出となりました。

以上により、当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ、126億98百万円増加し、602億54百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年6月期の業績予想につきましては、最近の業績の動向等を踏まえ、平成29年11月10日に公表しました平成30年6月期の連結業績予想を修正することとしました。当該予想に関しては、本日(平成30年2月13日)公表しました「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	56,434	69,715
受取手形及び売掛金	70,519	73,800
商品及び製品	5,097	4,443
仕掛品	15,880	21,341
原材料及び貯蔵品	9,240	10,207
繰延税金資産	6,027	5,451
その他	7,299	7,202
貸倒引当金	△811	△926
流動資産合計	169,685	191,233
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	32,229	32,381
機械装置及び運搬具(純額)	14,451	14,226
工具、器具及び備品(純額)	1,647	1,696
土地	8,096	8,097
リース資産(純額)	834	813
建設仮勘定	3,049	5,572
有形固定資産合計	60,306	62,786
無形固定資産		
リース資産	67	91
ソフトウェア	690	878
その他	2,815	2,620
無形固定資産合計	3,573	3,588
投資その他の資産		
投資有価証券	4,389	18,654
繰延税金資産	2,298	2,454
その他	7,107	6,969
貸倒引当金	△2,051	△2,050
投資その他の資産合計	11,743	26,027
固定資産合計	75,622	92,401
資産合計	245,306	283,634

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	48,829	53,518
短期借入金	30,199	22,946
リース債務	315	317
未払法人税等	2,525	3,316
前受金	16,908	23,668
繰延税金負債	10	13
賞与引当金	2,738	3,180
役員賞与引当金	401	202
製品保証引当金	2,069	1,560
受注損失引当金	785	454
その他	11,175	11,225
流動負債合計	115,954	120,399
固定負債		
長期借入金	12,528	16,299
リース債務	692	692
繰延税金負債	1,408	5,714
退職給付に係る負債	8,311	8,176
役員退職慰労引当金	335	282
役員株式給付引当金	74	103
資産除去債務	392	394
その他	694	680
固定負債合計	24,436	32,340
負債合計	140,389	152,738
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,873	20,873
資本剰余金	3,912	3,912
利益剰余金	73,801	87,651
自己株式	△271	△271
株主資本合計	98,315	112,164
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	491	10,206
為替換算調整勘定	2,480	4,666
退職給付に係る調整累計額	△2,599	△2,466
その他の包括利益累計額合計	372	12,406
非支配株主持分	6,229	6,325
純資産合計	104,917	130,895
負債純資産合計	245,306	283,634

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年12月31日)
売上高	112,021	125,277
売上原価	80,727	88,149
売上総利益	31,294	37,129
販売費及び一般管理費	16,886	18,430
営業利益	14,409	18,699
営業外収益		
受取利息	57	73
受取配当金	176	174
保険配当金	140	365
持分法による投資利益	120	209
その他	478	742
営業外収益合計	971	1,563
営業外費用		
支払利息	294	193
その他	444	406
営業外費用合計	738	599
経常利益	14,641	19,662
特別利益		
投資有価証券売却益	—	2,002
特別利益合計	—	2,002
特別損失		
固定資産売却損	424	—
固定資産除却損	93	52
特別損失合計	518	52
税金等調整前四半期純利益	14,123	21,612
法人税、住民税及び事業税	2,286	4,073
法人税等調整額	△244	548
法人税等合計	2,043	4,621
四半期純利益	12,081	16,991
非支配株主に帰属する四半期純利益	777	674
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,304	16,317

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	12,081	16,991
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	374	9,704
為替換算調整勘定	3,155	2,388
退職給付に係る調整額	133	133
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	13
その他の包括利益合計	3,660	12,238
四半期包括利益	15,741	29,230
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,718	28,350
非支配株主に係る四半期包括利益	1,023	879

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成28年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年7月1日 至 平成29年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	14,123	21,612
減価償却費	3,144	3,218
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	149	87
賞与引当金の増減額 (△は減少)	146	400
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△11	△32
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△16	△53
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	-	28
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	18	△536
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△214	△333
受取利息及び受取配当金	△233	△247
支払利息	294	193
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△2,002
固定資産売却損益 (△は益)	424	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△13,291	△1,510
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△547	△4,991
仕入債務の増減額 (△は減少)	8,369	3,800
前受金の増減額 (△は減少)	1,555	6,233
未払消費税等の増減額 (△は減少)	164	△472
その他	983	△676
小計	15,060	24,720
利息及び配当金の受取額	246	259
利息の支払額	△293	△194
法人税等の支払額	△2,600	△3,304
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,413	21,481
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,705	△7,583
定期預金の払戻による収入	1,404	7,140
有形及び無形固定資産の取得による支出	△2,892	△4,148
投資有価証券の売却による収入	2	2,171
関係会社株式の取得による支出	-	△304
その他	20	71
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,171	△2,653
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,541	△4,551
長期借入れによる収入	-	8,200
長期借入金の返済による支出	△4,739	△7,231
配当金の支払額	△1,475	△2,463
自己株式の取得による支出	△260	△0
その他	△556	△929
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,571	△6,974
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,055	845
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△274	12,698
現金及び現金同等物の期首残高	44,862	47,555
現金及び現金同等物の四半期末残高	44,588	60,254

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年7月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	真空機器事業	真空応用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	95,821	16,200	112,021	—	112,021
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,165	654	1,819	△1,819	—
計	96,986	16,854	113,840	△1,819	112,021
セグメント利益	13,202	1,215	14,418	△9	14,409

(注)1. 調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年7月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	真空機器事業	真空応用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	108,577	16,700	125,277	—	125,277
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,352	820	2,172	△2,172	—
計	109,929	17,520	127,449	△2,172	125,277
セグメント利益	17,000	1,706	18,706	△7	18,699

(注)1. 調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりです。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同期比(%)
真空機器事業	108,577	113.3
真空応用事業	16,700	103.1
合計	125,277	111.8

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 真空機器事業の主な品目別販売実績及び当該販売実績に対する割合は次のとおりです。

品目	当第2四半期連結累計期間	
	販売高(百万円)	割合(%)
FPD及びPV製造装置	56,955	52.5
半導体及び電子部品製造装置	24,287	22.4
コンポーネント	16,415	15.1
一般産業用装置	10,920	10.1
計	108,577	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 真空応用事業の主な品目別販売実績及び当該販売実績に対する割合は次のとおりです。

品目	当第2四半期連結累計期間	
	販売高(百万円)	割合(%)
材料	8,347	50.0
その他	8,353	50.0
計	16,700	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。